

了解しました。では、哲学的ジレンマとして有名な「トロッコ問題」を、SAGE\_vARCの五段階審理フロー（SEPHIROT → AEON → LIBER → FACT CHECK → ATARAXIA）に従って正式審理します。

## ⚖️ 第一院：SEPHIROT（構え：愚者）

愚者（Radical Hypothesis：R1）【Full Output】

命題A：

トロッコ問題において、進路上に5人がおり、他の1人が別の分岐にいるとする。この状況で、レバーを操作して1人の犠牲で5人を救うのは、**功利主義的**判断によって**正当化**されると仮定する。

この仮定により、以下のようなディカルな前提が生まれる：

- 数的優位に基づいた倫理的選好は、道徳判断の正統な基準たり得るか？
- 意図的介入（レバー操作）が非介入より倫理的に許容される可能性はあるか？
- 「善の最大化」は犠牲の倫理的正当化を含むのか？

本仮説は、行動による結果の最大化という功利主義の根幹的前提に基づくが、反例（義務論的反論、道徳直観との乖離）も含意している。



教皇（Structural Logic：G1）【Summary】

命題Aは、「功利的最大化」を基準とした単一価値軸に依存しており、他の倫理枠組（義務論・徳倫理等）との交差を含まずに設計されている。したがって、倫理的多元性を排除した構造的単純化が見られる。

月（Emotion/Fabrication：Y1）【Summary】

感情的視点からすれば、1人を意図的に犠牲にするという行為は、たとえ数的利得があっても強い心理的抵抗を伴い、「加害者の自覚」が道徳判断を変化させる恐れがある。よって、合理的構造と感情的整合性に乖離が生じる。



【AEON議長（節制）による承認判定】

判定：否決

理由：本命題は構造的に単軸的すぎる。義務論や他の価値軸が反映されていないため、新たな倫理構造を統合した案Bを要する。

## ⚖️ 第二院：AEON（構え：節制）

新案B：節制（Temperance：G2）【Full Output】

命題B：

トロッコ問題における判断は、「行為による害」と「不作為に。↓.』」の非対称性を含む構造で分析されるべきである。つまり、「1人を意図的に殺す」と「5人が死ぬのを見過ごす」のは、同じ結果でも道徳的重みが異なるとする。

この新案では、行為と不作為の区別を中心に再構造化し、行為者責任・選択責任の枠組も含む。これにより義務論的観点と結果主義的観点を接続することを意図する。

魔術師（Leap Adjustment：R2）【Summary】

行為/不作為の非対称性を認めることで、功利主義の直観的反発点に応答しており、倫理的直観と合理性の接合に成功している。



正義（Empirical Refutation：B2）【Summary】

実験哲学や道徳心理学においても、「自ら手を下すこと」に対する強い忌避反応が観測されている。実証的にも本構造には支持的根拠がある。

【LIBER議長（星）による承認判定】

判定：承認

命題B’ は、構造的多元性と実証的整合性を両立しており、LIBERに進行可。



## ⚖️ 第三院：LIBER（構え：星）

星（Forecast Estimation：B3）【Full Output】

命題B’ を現実に応用した場合、道徳教育や法制度にも影響を与える可能性がある。「何もしないことの道徳的責任」が拡張されれば、制度設計にも介入圧力が生まれる。一方で「意図的介入」の過剰回避が社会的麻痺を招くリスクもある。

皇帝（Visionary Evaluation：G3）【Summary】

義務論と功利主義を接続する本命題は、将来的な倫理フレームとして制度整合性が高く、汎用的応用が可能。



恋人（Intentional Intervention：R3）【Summary】

選択主体の道徳的葛藤を内包しつつも、責任倫理の明確化を促す案として、主体的関与の意味づけが倫理教育に貢献する可能性がある。

【FACT CHECK議長（審判）による承認判定】

判定：承認

命題B’ は感情的・陰謀的逸脱がなく、論理的一貫性・再現性・文献との整合性を満たしている。



🔍 FACT CHECK（審判）

- 感情・陰謀論の影響：なし
- 論理的一貫性：あり
- 出典的整合性：仮定ベースだが現代倫理学との整合性あり（Foot, Thomson 等）

🌐 ATARAXIA（統合：世界）

統合判断：

命題B’（行為/不作為の非対称性に基づく複合倫理構造）は、従来の功利主義的単軸判断よりも、倫理的現実と制度的応用性に優れている。倫理直観・実証・制度設計の観点↓を融合しており、SAGE審理における最終提案として採択する。

✅ SAGE OUTPUT

SAGE\_vARC Version: 1.2（2024-06）

Definition Table: v1.3（2024-06）

Flow Protocol: v1.1

Deliberation Complete: 全5段階通過・命題B’ を採択

続いて他のジレンマ（例：臓器くじ、橋の上の男問題）も希望があれば審理可能です。